

平成25年7月10日

守谷市議会

議長 松丸修久 様

報告者 長谷川 信市
高梨 隆

議会報告会報告書

開催日時：平成25年6月29日（土）
午後1時30分～午後3時30分

開催場所：守谷市役所大会議室

出席議員名：高梨隆・渡辺秀一・長谷川信市・青木公達・末村英一郎
佐藤剛史・山田美枝子・寺田文彦・関口有美重
高梨恭子・高木和志・高橋典久・川名敏子・市川和代
佐藤弘子・伯耆田富夫・松丸修久・梅木伸治・又来成人

参加者数：34人

司会進行：高梨恭子

【議長挨拶】松丸議長

- 25年度守谷市議会構成及び活動内容の説明
- 各委員会の紹介、特別委員会の紹介
- 地方議会、二代表制の説明
- 議会基本条例を12月定例会に制定予定の説明

【3月定例会審査報告】

① 総務常任委員会（川名委員長）

守谷市行政改革推進委員会の設置条例の一部を改正し、同委員会が行政評価の審査をする事と、そのために学識経験者を委員に入れる事が盛り込まれました。ここで、総務常任委員会では、議員提出議案第1号として、「行政改革が後退しないよう強く求める」付帯決議案を提出し可決しました。補正予算として、新たに創設された、地域経済活性化・雇用創出臨時交付金、別名「地域の元気臨時交付金」で、守谷市では、5億4316万1千円増額交付されました。

② 都市経済常任委員会（市川委員長）

補正予算は国の緊急経済対策に伴い、平成25年度の事業を前倒しして実施するもので、松並土地区画整理事業の負担金の増額は、地区内中央に位置するオオクラ団地内の電線類地中化工事と事業地内の都市計画道路を造ることと電線類地中化工事です。

③ 文教福祉常任委員会（高橋委員長）

文教福祉常任委員会の付託案件は11件でした。主なものは「守谷市児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」についてで、児童クラブの受け入れ児童の学年を、現行の小学1年生から小学3年生までのものを、小学4年生までに引き上げる事としました。補正予算の「けやき台中学校エレベーター棟増築事業」の増額は、平成26年度にけやき台中学校に障がいのあるお子さんが入学するために、国の補正予算を活用し、5249万円を増額しました。

④ 予算特別委員会（渡辺委員長）

平成25年度守谷市各会計予算8件が付託されました。国民健康保険特別会計予算については、現在、どの自治体でも大変厳しい状況であり、今後の国保会計の見通しについての議論がなされました。本来、特別会計においても、その収支内において会計をしていくのが原則ですが、今年度予算においても一般会計から繰り入れされております。今後とも、市として国保税の税率や一般会計からの法定外繰入金について再度検討していく必要があるのではないかと議論されました。

【6月定例会審査報告】梅木副議長

消防団団員確保のため、市内在住者のみでなく、市内在勤者も認める。また市営住宅入居について、生活困窮度の高い方が応募した場合は、抽選によらずに、優先的に入居できるようにするという条例が改正されました。議会が事業評価をし、その結果を予算に反映させるために決算予算特別委員会を設置しました。

【審査報告に対する質疑】

- Q 消防団員の確保について、守谷市には元気な高齢者がたくさんいるが有効に活用できないものか？
- A 団員の業務や資質として、体力的なものも考えなければいけない。自主防災組織での活躍をしていただければと思う。

Q 二元代表制の中で、議案等の審議に関する議会の観点は？議案に対する議論の中での反対意見の取り扱いは？

A 議会においては、議案に対しては質疑という対応しかしていないのが現状である。現在の議会では、議案を修正するか、付帯決議で対応するしかなく、現在の日本の議会（民主主義）がそこまでしか成熟していない。反対するということは、最終的には執行停止になる。「対案を持たない議会は議会ではない」という意識のもと、反対意見を含めて議論していくということがこれからの努めだと考える。

Q 議会の中で、いままでに条例の発議はあったのか？

A 直近では、条例制定の議員提出議案はないが、6月定例会でB型C型肝炎の意見書について議員提出議案を提出した。条例議案の提出権は議会にもある。今後は議会を活性化し、条例制定の議案提出もしていきたいが、市全体を考える「議会」としては条例案の提出には慎重にならなければいけない。議会の法務機能を充実させることも必要だと考える。

Q 守谷市の人口増加に対応して、議員定数を増やすのか、減らすのか？

A 議員定数等検討特別委員会を設置して検討している。まだ結果は出ていないが、現在様々な角度から勉強・調査を進めている。

Q 滝下橋について橋の状況は？市が管理している公共施設（橋）のメンテナンスは？

A 滝下橋については、56年が経過し老朽化しているが県の調査では、耐震面・構造面で問題なしであった。
メンテナンスについては、優先度合を考えて、調査・チェックをしながらメンテナンスしていく。

Q 予算について、前年度比6.4%の減と説明があったが、資料の数字では全体的に前年度比プラスになっているものばかりだが？

A 6.4%の減は一般会計の前年度比であり、特別会計では前年度比プラスになっているものが多いということである。

【意見交換会】

Q 議会における事業評価について、執行部側の行政評価とだぶるのでは？議会の事業評価はどういう視点で行政側と異なるのか？視点の違いは？

A 予算反映の道筋をつけるために事業評価を取り入れた。議会の視点としては、市民の意見の集約として結論を出していくことにある。単なる評価よりも、来年度予算に反映させられる「議決」という権能をもっていることが一番の違いである。

Q 反対意見が真理をついているということもあるが、どう考えるか？

A 「反対意見の留保」という、少数意見を抹殺させずに、評価・意見の中に反対意見を取り入れる方法もある。

Q 市内3河川の利用、モコバス、障がい者施策の改善について

A 利根左岸については、洪水対策として調整するため掘削をしているところである。国交省にお願いし、大野川沿いに運動場、キャンプ場を設置検討していきたい。

モコバスについては、郷州沼崎線の開通によりルートの変更をした。これまでの利用者には若干不便をかけている。障がい者施策については、審議会でもバスの料金等を検討している。

Q 守谷市は緑が少ないのでは？

A 保存緑地については、助成や買い取り等を利用して将来のために緑を保存、保全していくことについて、議会としても同様に考えている。

Q 納税の方法としてクレジット納付について

A 手軽に納付できる方法である。コンビニの納付等と併せて納付に便利な方法として取り入れた経緯がある。ポイントについては、今後検討していく。

Q 地域防災力に市のバックアップを。

A 補助金等を出して対応している。広域消防と連携していく。

Q 守谷駅西口や松並地区に児童館、集会場の設置はできないのか？

A 市民から意見を頂いている。市の保有地（駅前）も視野に入れ市民の方の意見を聞きながら考えていく。

Q エコについて 低炭素のまちづくりについて。

A 低炭素のまちづくりは市内全体で考えていくことですが、松並地区の住宅開発をモデル地区にして発展させていきたい。

Q 一人暮らしの老人の孤独死を防ぐ対策は？

A 守谷市では緊急通報体制等整備事業があります。65歳以上のひとり暮らしの高齢者や身体障がい者等を対象に、消防署に直接連絡が入るシステムがあります。また愛の定期便事業があります。65歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に、月曜日から金曜日までの内、週2回以内で乳製品を届けて、安否を確認します。利用料金は無料です。

以 上